

第3回 GPIF Finance Awards

対象者

2013年4月以降、「年金積立金の運用の高度化に資する優れた研究」を行った国内の研究者（原則として大学、研究機関に所属する者。学術的な内容で研究を行った実務家を含む。）。または、日本の教育機関（学校教育法第一条に定めるもの）に在籍（教職又は生徒として在籍した者も含む）もしくは日本の研究機関に在籍したことがある若手研究者。

選考委員

ロバート・マートン	ノーベル経済学賞受賞、MITスローン・ビジネススクール教授、ハーバード大学名誉教授
ジョシュ・ラーナー	ハーバード・ビジネススクール教授
デビッド・チャンバース	ケンブリッジ大学ジャッジ・ビジネススクール教授
植田 和男	共立女子大学国際学部教授、東京大学金融教育研究センター センター長（元運用委員会委員長）
翁 百合	(株)日本総合研究所理事長（金融審議会委員）
福田 慎一	東京大学大学院経済学研究科教授（金融審議会委員）
米澤 康博	早稲田大学大学院経営管理研究科教授（元運用委員会委員長）

選考プロセス等

公募
候補者：26名
(新規応募者1名)

選考委員審査
(2019年4月23日)

受賞者決定

表彰式・講演会
(2019年7月31日)

受賞者

與語 基裕 氏
(プリンストン大学経済学部教授)



【経歴】

2000年	プリンストン大学経済学部卒業
2004年	ハーバード大学院経済学部（博士号、Ph.D）卒業
2004～2010年	ペンシルベニア大学ワートンビジネススクール、ファイナンス学部助教授
2010～2015年	ミネアポリス連邦準備銀行、研究部エコノミスト
2015年～	現職

受賞理由

研究分野は、ファイナンス・保険分野・計量経済など多岐にわたっている。中でも資産価格決定理論および投資会社と保険会社の仕組みと役割について顕著な功績があり、今後さらなる活躍が期待されるため。

GPIFファイナンスアワード設置の目的 ～優秀な若手研究者の活動の振興～

運用手法の高度化

金融商品の多様化

社会的な要請

理論的側面の充実

学術研究態勢の強化

GPIFファイナンス・アワード

金融・ファイナンス分野で著名な内外の研究者による選考

後援

厚生労働省

文部科学省

金融庁

国家公務員共済組合連合会